

# 都道府県名：東京都 団体名：東京都水道局多摩川水源森林隊

## 地域

東京都水道局多摩川水源森林隊は、多摩川源流域の森林をフィールドとしてご活躍されています。この地域は、東京都西多摩郡奥多摩町、山梨県北都留郡丹波山村及び小菅村、甲州市の一部にわたり、全域が秩父多摩甲斐国立公園に含まれた緑豊かな地域です。

この中でも最も多く活動が行われている奥多摩町は、東京都の約10分の1に相当する226km<sup>2</sup>の面積を有し、その94%が森林で、幹回り3メートル以上の巨樹が891本(日本一)も確認されており、西から東へ流れる多摩川の清流とともに「巨樹と清流のまち」として都民に親しまれています。

## 経緯

多摩川は、東京都の重要な水源であり、投げ渡し堰で有名な羽村取水堰上流域の約4割、およそ22,000haの森林を「水道水源林」として東京都水道局が所有し、自ら保全・管理しています。

その一方で、東京都水道局の管理が及ばない民有林では、林業の不振などを原因とした手入れ不足が生じ、一部の人工林で荒廃が進んできています。

このような森林を、水源地にふさわしい緑豊かな森林へと再生するため、平成14年度に「多摩川水源森林隊」を設立し、ボランティアによる民有林の保全管理に取り組んでいます。

## 功績内容

活動の趣旨に賛同して頂いた民有林所有者からフィールドを提供して頂き、ボランティアによる植栽や下刈、間伐、枝打などの森林保全活動を実施しています。

ボランティア隊員は、東京都内だけでなく関東近県にお住まいの方々も登録しており、平成23年度末現在で897名に上り、年間約140回行われている保全活動には、延べ約1,800人の方々が参加しています。

平成14年度の設立からこれまでに、延べ約160haで保全活動を実施しており、平成24年度からはボランティアの受け入れ態勢をさらに拡大して活動しています。

また、ボランティア登録を促すため、都民をはじめとした一般の方々を公募して、森林保全作業体験や森林保全作業を見学する「学習活動」を年3回開催し、好評を博しています。



多摩川水源森林隊活動箇所



間伐作業の様子



学習活動の様子



下刈作業を終えて